

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【鹿児島市立清水中学校】

1 実践テーマ	①・II・③④⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	鹿児島市立清水中学校1年生 1組39人 2組39人 3組40人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピック・パラリンピックそのものについての学び パラリンピアンとの交流を通して、オリンピック・パラリンピックに関する知識、選手の体験、エピソード、大会を支える仕組み等について学ぶ。 (2) オリンピック・パラリンピックを通じた学び パラリンピアンとの交流を契機として、スポーツの価値、参加国・地域の文化・言語、共生社会、持続可能な社会、わが国の伝統・課題等を学ぶ
5 取組内容	<事前学習> ・ オリンピック・パラリンピックに関する意識調査（アンケート） ・ 定期テストにおけるオリンピック・パラリンピック関連事項の出題 ・ オリンピック・パラリンピック種目クイズの実施 <当日> ・ オンラインによるパラリンピアンとの交流 ・ 質疑応答やデモンストレーション（腕立て伏せ） ・ 感想文の記入

	<p><事後学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感想の発表と共有 ・ 生活の記録（日記）の記載、紹介 ・ 学級通信への活用 ・ 道徳科との関連を図った。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ全般に関する興味・関心の向上（アンケートより） ・ 保健体育学習において、主体的な姿がより多くの場面でみられるようになった。（あきらめない心） ・ 自分の将来へのキャリアデザインを描く生徒が増えた。 ・ 多様性を認める雰囲気醸成された。（学級での会話のやりとりなど）
7実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関心のある特定の生徒だけが興味をもつことがないように、動画や静止画などを見せた後に、パラリンピアンの子立ちや背景、苦悩した経験などについても触れ、すべての生徒が自分の立場に置き換えて考えることができるようにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流が急遽、オンラインになってしまったため、生徒側からすると一方通行のやりとりになってしまったが、交流する機会がもてたことは有意義だった。 ・ 途中、動画がスムーズに流れなくなり、いったん集中が途切れてしまった。 ・ 生徒に司会、進行などができるよう事前に準備をしておく、一層主体性が増すと感じた。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の交流に関する学校掲示を充実させ、生徒が視覚的にフィードバックできるような環境をつくる。（廊下、体育館内など） ・ 全職員への資料の配布（生徒の感想文を中心に） ・ 体育大会、クラスマッチなど体育的行事との関連を図る。（指導事項として盛り込む。）→<u>公平・公正、協力、礼・ギブアップ</u> ・ 学校全体で取り組んでいるSHK（清水中班活動）での活用 ・ 学校生徒会での活用（保体部） ・ 道徳科、キャリア教育との関連を図る。